

第 9 回 日 本 腰 痛 学 会

2001年11月23日（金・祝）

神戸国際会議場

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1

TEL 078-302-5200（代）

会長 圓尾宗司

兵庫医科大学整形外科学教室

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1

TEL 0798-45-6452 FAX 0798-45-6453

第9回日本腰痛学会開催にあたって

会長 圓尾 宗司

第1回日本腰痛研究会が神戸労災病院の栗原会長のもとで平成5年に神戸で開催されて以来、早いもので約10年が経過しました。当時、近藤労働大臣をはじめ多くの労働省関係者のご参加のもとに本会が立ち上げられたのが思い出されます。その後腰痛の基礎から臨床、疫学、病態、治療、予防と幅広い分野での討議が重ねられ、会員数も次第に増加したのを機会に昨年の第8回より白井教授のご尽力により研究会から学会にすることが出来ました。ここに厚く御礼申し上げます。

今回の第9回日本腰痛学会は21世紀初頭の学会でもあり、原点にもどって“職業性腰痛”についてのご講演を初代会長の栗原先生にお願いしました。設備や労働条件が近代化されても次々と新しい問題が出てくるので、その現状と展望につきお話いただく予定です。

本学会では手術のみならず、腰痛を取り巻く諸問題が主に採り上げられてきました。今回はup-dateな次の二つのテーマを選びました。その一つは“骨粗鬆症と腰痛”であります。WPOAの呼びかけに呼応して日整会が取り上げたBone and Joint decadeのメイン・テーマの一つであります。高齢化社会における骨脆弱化の診断から治療における問題点を、21世紀の新技术を駆使して議論していただく予定です。他の一つは“腰椎椎間板ヘルニア治療のクリニカルパス”であります。時を得たテーマとして多くの演題のご応募をいただきました。活発なご討論を期待いたします。

教育研修講演では四宮教授の脊髄再生医療、楊 助教授の骨粗鬆症の講演を予定しています。昨年の学会で好評であった“腰痛のEBM”の続編を白井前会長の司会で御討論いただく予定です。ご期待ください。一般演題でも数多くの御応募をいただき有り難うございました。出来るだけ短時間でコンパクトに、そして実り多い学会となるよう準備を進めてまいりました。

皆様のご支援とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

2001年11月